

講義コード	25468010
担当者	寺 本 益 英 教 授
研究題目	豊かで幸福な経済・社会の構想

【ゼミの研究内容】

みなさんは入学以来、経済学関係の講義をいくつも受講してきたと思います。しかし絶えず目の前のレポートやテストに追われ、「なぜ経済学を学ぶのか」、「学びを将来どのように役立てるのか」という根本的な目的を忘れがちになっていないでしょうか。

私はゼミの役割を、単に経済学の知識を集積するだけではなく、社会が直面する諸問題に対し、幅広く深い分析力を磨き、問題解決力を鍛え、豊かな人間性を育む場だと考えています。

上記の目的を達成するため、ゼミの研究テーマを「豊かで幸福な社会の構想」としたいと思います。豊かで幸福な社会を構想する作業は、日本をこれからどうして希望の持てる国にしてゆくかという「大きな物語」と、個人が仕事や家族・知人との交流を通じて充実感を感じるという「小さな物語」を描くことから成立しています。ゼミ生にはこの2つの物語のストーリーを考え、報告と議論を重ねた後、ふだん接している人たちに提案してもらいます。

日本経済史のゼミですから歴史のアプローチを重視します。「大きな物語」に関しては、明治維新以降の日本の歩みをたどり、何を継承し、何を改めるべきか、政治・経済・外交に焦点を当て、アイデアを出し合ひましょう。日々の安倍政権の動向にも、十分な注意が必要です。一方「小さな物語」については、スローライフを楽しむとか、家族や職場における人間関係をより強固にするとか、歴史や文化に親しむといった具合に、人間らしく心豊かな毎日の送り方を長期的視点で検討してゆきます。

【ゼミの運営について】

ゼミの運営については、ゼミ活動を第一に考え、研究と様々な企画（例えば勉強会や見学・聞き取り調査など）に十分時間を割くことのできる学生の参加を希望します。共同研究を行い、卒業時にその成果を冊子にまとめることができれば理想的です。

ホームページを作成していますので、私の詳しい研究内容や、現在取り組んでいるテーマの詳細を参照してください。アドレスは下記のとおりです。

<http://www42.tok2.com/home/kgteramoto/>

受け入れ条件		ゼミでの研究や活動に使える時間を十分確保していること。
担当者のプロフィール	専攻	日本経済史
	現在の研究テーマ	明治維新以降の経済発展、お茶の社会経済史
	所属学会	社会経済史学会 交通史研究会 経営史学会 日本フードシステム学会